









品目別生産コスト縮減取組チェックシート（キャベツ）

キャベツにおける生産コスト縮の低減に向けた取組事例を一覧にしたものです。
 今後、皆さんの経営(又は地域)において導入可能な取組がないか一つずつチェックしてみましょう。

記入者氏名 _____

記入年月日 _____

	コスト縮減の取組	チェック		コスト縮減の取組	チェック		コスト縮減の取組	チェック		コスト縮減の取組	チェック		コスト縮減の取組	チェック		
省力化技術	コスト縮減の取組 野菜全自動移植機の導入 		省力化技術	コスト縮減の取組 輪作体系の導入		省力化技術	コスト縮減の取組 ブームスプレイヤーの導入 		省力化技術	コスト縮減の取組 経営診断に基づく経営改善		省力化技術	コスト縮減の取組 肥料費 土壌分析に基づく適正施肥			
	野菜栽培管理ピークルの導入 			セル成型苗の利用 			クローラ型フォークリフトの導入 			経営 労働時間の記帳管理と雇用や作業委託の導入によるピーク時の緩和			農薬費 大型包装農薬の選択		農機具費 特別償却や税制控除が受けられる優遇税制の利用	
	キャベツ収穫期の導入 			フェロモントラップの利用 			通いコンテナの利用 			経営 作業競合や機械の利用を踏まえた効率的な作物別・品種別作付計画の作成			農薬費 低価格農薬の組合せ等による防除		農機具費 共同購入・共同利用による効率的な農業機械の導入	
						資材費共通 複数業者の価格を比較した上での資材購入		肥料費 病害虫の発生状況に応じた防除の実施		農機具費 大型農業機械の利用技能の習得						
						肥料費 輸入高度化成肥料やBB肥料等の低価格肥料の選択		肥料費 作業規模に応じた馬力・能力の機械の選択		光熱動力費 定期的は保守点検による長期利用						
						肥料費 高度化成に比べて低価格な単肥の自家配合		肥料費 低価格農機(HELP農機)の選択を検討		光熱動力費 免税軽油の利用						
						肥料費 バラ・フレコンによる肥料の購入		肥料費 低価格農機(JAグループ独自型式等)の選択を検討		賃借料・料金 共同利用施設の稼働率の確保						
						肥料費 港湾や工場からのトラック満車直行等の低価格な配送条件の有無の確認		肥料費 中古農機の利用		賃借料・料金 作業受委託の推進の確保						
						肥料費 追肥を省略できる肥効調節型肥料の利用		肥料費 経営内容に応じた機械の装備等の選択		諸材料費 野菜等出荷箱の茶箱化						
								肥料費 修理整備技術の確かな販売店の選択								

品目別生産コスト縮減の基本的考え方(キャベツ)

機械化一貫体系の導入により収穫・調製・出荷作業等を省力化
 現行の栽培体系では収穫・調製・出荷等の作業で十分機械化が進んでおらず、これが規模拡大の隘路となっているため、キャベツ収穫機や重量野菜運搬作業車等を導入することにより単位面積あたりの労働時間を大幅に低減。
 規模拡大、共同利用等により稼働率の向上を図り農機具・農用建物費を低減
 農機具費、集荷場の利用費等がコストの大きな部分を占めているため、規模拡大や機械の共同利用等により稼働率の向上を図り、農機具費・施設利用費を低減。
 効率的施用等により肥料費や農業薬剤費を低減
 堆肥の積極的利用及びフェロモントラップの利用等による肥料・農薬の施用量を低減。

省力化技術	コスト縮減の取組	内容	省力化技術	コスト縮減の取組	内容	省力化技術	コスト縮減の取組	内容
	野菜全自動移植機の導入	野菜全自動移植機の導入により、苗の定植に要する時間の大幅な削減が可能 〔キャベツ以外の品目でも利用可能です。〕		輪作体系の導入	輪作作物の導入により、連作障害を回避し、農薬散布費用・時間の低減が可能 〔連作障害の発生が抑えられ、農薬散布の低減が可能となり、収量の安定化や収入確保にも寄与します。〕		ブームスプレヤーの導入	ブームスプレヤーの導入により、防除作業時間の削減が可能 〔大型トラクター若しくは管理ビークルに搭載し、防除作業に活用します。〕
	野菜栽培管理ビークルの導入	野菜栽培管理ビークルの導入により、防除に要する時間の大幅な削減が可能 〔キャベツ以外の品目でも利用可能です。〕		セル成型苗の利用	セル成型苗の利用により、出芽から幼苗までの管理の省力化が可能 〔セル成型苗は徒長やばらつきが少なく揃いが良いため、管理が容易になります。〕		クローラ型フォークリフトの導入	フォークリフト機能を備えたクローラ型の作業車により、収穫・運搬にかかる時間の大幅な削減が可能 〔収穫・運搬を行う作業車が直接圃場に入るので、一斉収穫作業が可能です。〕
	キャベツ収穫期の導入	キャベツ収穫機の導入により、収穫作業に要する時間の大幅な削減が可能 〔省力化により規模拡大も可能です。〕		フェロモントラップの利用	害虫防除の適期把握により、農薬の使用回数の低減が可能 〔害虫の発生消長をもとに発生予察を行うことで、適正な防除の時期の把握が可能です。〕		通いコンテナの利用	通いコンテナの利用により、収穫・出荷作業の省力化が可能 〔出荷規格の簡素化や、雨天時でも作業が可能などから、出荷作業の効率化・省力化が可能です。また、段ボールを使用しないため、資材費の削減にもつながります。〕
経営	経営診断	普及組織、JA等が行う経営診断を行っている場合、積極的に受け、経営改善につなげる。	肥料費	土壌分析に基づく適正施肥	定期的に土壌診断を行い、ほ場にあった成分構成の肥料の選択や施肥量を調整し、過剰な肥料を節減する。	農機具費	作業受託の実施	現在、所有する農業機械の馬力や能力に余裕がある場合には、作業受託を検討・実施する。
	労働時間の管理とピーク時の対応	労働時間を記帳し、作業別労働時間やピークなどを把握し、作業の効率化を検討する。また、ピーク時には雇用労力を活用するのか、作業委託に出すのかを検討する。		大型包装農薬の選択	大規模経営者や集落営農の場合には、農薬の包装規格を確認し、大型包装品を活用する。		共同購入・共同利用	効率的な大型の農業機械を導入する際、作業規模からみて、1戸では過剰投資となる場合、共同購入・共同利用を実施する。
	作物別・品種別作付計画の作成	作物間の作業競合、機械の利用を踏まえた作付計画を作成する。また、機械の作業効率を高めるため、作物や品種毎に団地化を図る。更に、異なった品種を組み合わせ、計画的に作期の拡大などを検討する。		低価格農薬の組合せ等による防除	特許切れ農薬等低価格な農薬の組合せによる防除の実施		大型農業機械の利用技能の修得	県が実施している機械化研修を受けて、農業機械士の認定を受けるなど、大型機械の効率的・安全に関する利用技能を身につける。
	経営規模の拡大	経営規模の拡大を目指す場合には、農地がまとまり、作業効率が良いよう、農業委員会等と十分調整する。		病害虫の発生状況に応じた防除	スケジュール防除ではなく、ほ場での病害虫の発生を観察するとともに、発生予察情報を活用した適期・適切に防除を行う。		定期的な保守点検による長期利用	作業中の突然の故障は経営的ダメージが大。そのため、自ら整備技能を修得するか、確かな整備工場での定期的な保守点検を実施する。
	購入時の価格比較	複数の販売業者から見積もり等を取り、割引制度も含め価格やサービス等を比較した上で選択する。		作業規模に応じた馬力・能力の選択	コスト低減の観点から、過剰な馬力・能力のものを選択しないように注意。		免税軽油の利用	農業者が直接又は共同で県税事務所での免税手続きを行い、通常価格より32円/リットル安い免税軽油を利用する。
	低価格肥料の選択	輸入高度化成肥料やBB(バルクブレンド)肥料など低価格なものを選択する。		低価格農機(HELP農機)の選択を検討	農業機械の購入の際、HELP農機(従来機より1割程度低価格機)に該当するかどうかを全農のホームページで確認し、選択の目安にする。		省エネ運転の実施	農林水産省がまとめ、ホームページに掲載している「省エネ利用マニュアル」を参考に農業機械の燃費向上を図る。 (例) ・燃費悪化を防ぐため、エンジンオイルフィルターの交換や季節に合ったオイルを選ぶ。 ・車輪の滑りを防ぐため、タイヤの空気圧を適正にする。 ・作業の負荷に合った適正なエンジン回転で作業する。
肥料費	単肥の自家配合	高度化成肥料に比べ低価格な単肥を購入し、自ら配合する。	農機具費	低価格農機(JAグループ独自型式等)の選択を検討	農業機械の購入の際、JAグループ独自型式(シンプルで約2割安)や韓国トラクタ(シンプルで約3割安)などの低価格農機を選択を検討する。	賃借料・料金	共同利用施設の稼働率の確保	共同利用施設の利用料金を引き下げるため、担い手を中心となって施設の能力をフル活用する。
	バラ・フレコンによる受入	大規模経営や集落営農の場合には、バラやフレコンによる受け入れることで、20kg袋に比べ、低価格で購入できる。		中古農機の利用	農業機械の購入の際、初期投資の少ない中古農機も検討する。		作業受委託の推進	賃借料と農機具費は裏腹の関係にあり、自ら機械を更新して作業を行うべきか、作業を委託すべきか検討する。
	トラック満車直行等配送条件の確認	大規模経営者や集落営農の場合には、港湾や工場からのトラック満車条件による低価格設定の有無を確認し、活用する。		経営内容に応じた装備等の選択	農業機械の価格は装備内容等によって大きく異なることから、経営内容に応じて装備等を選択する。		野菜等出荷箱の茶箱化	段ボール箱の色を白や黒のカラー箱から段ボール原紙の色である茶色に切り替えると箱代は5%程度安くなる。
	肥効調節型肥料の利用	割高ではあるが、省力化効果が高い肥効調節型肥料を利用する場合には、トータルでのコスト低減効果を確認しつつ、利用する。	技術の確かな販売店を選択	修理整備を販売店に任せる場合、県の認定を受けた整備施設かどうかを確認して、購入先を選択する。				
			優遇税制の利用	農業者が農業機械を取得・リースした場合、特別償却や税額控除が受けられる中小企業等投資促進税制などの優遇税制を活用する。				